

製品名：ポリマートアシストプラス

発行日：2021年8月23日

改定日：

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	ポリマートアシストプラス
製品コード	7081006
会社名	日本マルセル株式会社
住所	〒116-0002 東京都荒川区荒川 2-23-3
電話番号	03-3803-1751
緊急時の電話番号	03-3803-1751
FAX番号	03-3805-0039
メールアドレス	
推奨用途及び使用上の制限	業務用水性フロアポリッシュ、ポリマータイプ 屋内一般化学タイル床の保護・艶出し

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号
ウレタン含有アクリル系樹脂エマルジョン	40～50%	非該当	非公開
高融点ポリエチレンワックスエマルジョン	5～15%	非該当	非公開
可塑剤	<5%	非該当	非公開
アルカリ可溶性樹脂	<5%	非該当	非公開
レベリング剤	<1%	非該当	非公開
防腐剤	<1%	非該当	非公開
消泡剤	<1%	非該当	非公開
水	残量	対象外	7732-18-5

※シックハウス・シックスクール配慮

シックハウス・シックスクールの原因として挙げられている厚生労働省指針値該当成分(13成分)については、これらを原料として使用していません。

※環境ホルモン対応

環境省「内分泌かく乱作用を有すると疑われる物質(65物質)」を使用していません。

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に努め、異常があれば医師の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗眼する。
皮膚に付いた場合	汚染された衣服、靴などは速やかに脱ぎ、接触した部分を水またはぬるま湯で十分に洗い流す。異常があれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水で口をすすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませ無理に吐かせず、速やかに医師の診断を受ける。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

本製品は水溶液でありそのままでは引火・発火性はないが、揮発した後に残る不揮発分に着火した場合には保護具を着用して消化する。

消火方法：注水、または各種消火剤を使用。

消火剤：水、泡、炭酸ガス、ドライケミカルなどの一般消火剤。

6. 漏出時の措置

多量の場合は土のう等で流出を防ぎ、空容器に回収する。

少量の場合はウェス等に吸収させて、空容器に回収する。

関係者以外の立ち入りを禁止し、作業者は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど)を着用する。

床に流出した場合は滑りやすくなるので注意する。

流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い 換気の良い場所で取り扱う。

眼、皮膚、衣服に触れないよう適切な保護具を着用する。

取り扱いの都度、容器を密閉する。

取り扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。

容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。

一度容器から出した液は、元の容器へ戻さない。

保管 直射日光を避け、換気の良い冷暗所かつ凍結しない場所に保管する。

容器は破損、腐食、割れのないものを使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : 設定されていない

管理濃度 : 設定されていない

日本産業衛生協会 : 設定されていない

ACGIH : 設定されていない

設備対策

通常の換気状態での使用可。

取扱い箇所の近辺に洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器用の保護具 : 不要

手の保護具 : ゴム製またはビニール製保護手袋を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業服、保護服などを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 乳白色液体
臭い	: 特異臭
pH	: 8.5
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: なし
燃焼性	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
比重(相対密度)	: 1.03
溶解度	: データなし(水に容易に分散)
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	: 4.0 [mPa・s]
不揮発分	: 23 [wt%]

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常取り扱い条件においては安定。
危険有害反応性の可能性	: 情報なし
避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動等)	: 0℃以下の低温(凍結)及び 40℃以上の高温環境
混触危険物質	: 水禁忌物質
危険有害性のある分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報**急性毒性**

経口 混合物判定理論経口 LD50 推定値 ATEmix が 5,000[mg/kg]を超えるため、区分外とした。

経皮 データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性／刺激性

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器／全身毒性—単回ばく露

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器／全身毒性—反復ばく露

データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報**生態毒性**

水性環境急性有害性 : データ不足のため分類できない。

水性環境慢性有害性 : データ不足のため分類できない。

残留性・分解性 : 測定データなし

生物蓄積性 : 測定データなし

土壌中の移動度 : 測定データなし

オゾン層への有害性 : データ不足のため分類できない。

他の有害影響 : 原液を河川・湖沼等に流出させないこと。

13. 廃棄上の注意

本液を廃棄する場合は、内容を明示した上で、免許を持った産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

公共水域(河川、湖沼など)への排出は絶対に避ける。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、免許を持った産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意**国際規則**

国連番号 : 該当なし

国連品名 : 該当なし

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規則

化学物質管理促進法(PRTR 法) : 非該当

消防法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

海洋汚染防止法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

毒・劇物取締法 : 非該当

薬事法 : 非該当

15. 適用法令

該当しない

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ

住所：東京都荒川区荒川 2-23-3

作成：日本マルセル株式会社

担当部門：営業一部

電話番号：03-3803-1751

FAX 番号：03-3805-0039

作成日：2021 年 8 月 23 日

改訂日：

引用・参考文献

1. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253 : 2012
2. GHS 対応ガイドライン 一般社団法人 日本化学工業協会 (2012 年 6 月)
3. GHS 分類結果データベース 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

参考資料

シックハウス・シックスクールの原因としてあげられている化学物質

① 厚生労働省指針値該当成分(13 物質)

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-*n*-ブチル、クロルピリホス、スチレン、テトラデカン、ダイアジノン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、アセトアルデヒド、フェノブカルブ

② 学校保健法：学校環境衛生の基準(ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物)

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン

注意

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づき作成しており、新規知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合は、用途や用法に適した安全性の評価と対策を実施の上ご利用ください。記載内容は情報の提供であって、安全性を保証するものではありません。